

平成 29 年度 推薦入試試験問題（生活科学科 生活科学専攻）解答例

（生活と環境問題の関係）（30 点）

【採点のポイント】

- ・ 環境問題について述べていること。
- ・ 基礎的な文章表現ができていること。
- ・ 解答全体の論理に一貫性があること。

【解答例】

私たちは、石油などの天然資源を消費して豊富な物資と大量のエネルギーを使い、便利で快適な生活を送っている。しかしながら、このような大量消費型の生活は、ゴミや排出ガス、排水を環境に大量に放出し、地球温暖化や環境汚染を引き起こしている。例えば、化石燃料の大量消費による地球温暖化は家庭での電気やガスの使用等に起因する。また、食べられるのに捨てたり、食べ残しなどの食品ロスや食生活のあり方と密接に関係する。

(200 字)

（環境への配慮）（70 点）

【採点のポイント】

- ・ 自分自身の生活での環境に配慮した具体例を述べていること。
- ・ 基礎的な文章表現ができていること。
- ・ 解答全体の論理に一貫性があること。

【解答例】

私は、食生活では、食べ残しを無くして台所の廃棄物を減らすようにしている。また、地元の旬の食材を選ぶことにより食品輸送や生産のエネルギーを節約したり、石油から作られる食品用トレーを使わない食品や過剰包装をしていないものを購入している。紙コップなどの使い捨てのものを使わず、牛乳パックや卵パックの回収などを心がけている。

衣生活では、すぐに着なくなる服は買わないようにし、衣服を大切に長く着用するようにしている。また、着なくなったものはフリーマーケットや繊維の再利用に出し

ている。洗濯では、洗剤を必要以上に使わず、水は風呂の残り湯を利用するなど節水を心がけている。

住生活では、冷やし過ぎず暖め過ぎないように冷暖房の温度を設定し、家族が同じ部屋で団らんすることにより冷暖房や照明の節約をしている。また、明るい窓辺に机を配置して本を読み、日中は電気スタンドや部屋の照明をできるだけつけないようにしている。

買い物のときはマイバッグを持参してレジ袋をもらわないようにし、過剰包装も断るようになっている。さらに、エコマークの商品を購入し、文房具では再生紙のノートを使い、ボールペンなどの筆記用具は使い切るようになっている。家庭で出るごみは分別して出すようにし、資源として再利用できるように協力している。

(569 字)